

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	598 高齢者教育の推進事業									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	社会教育課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	02	目	生涯学習費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		生涯学習推進費			細事業名 (事業2)		高齢者教育の推進事業		
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民		
事業期間	開始年度	-		終了予定年度		-					
事業の目的	高齢者が健康で元気な生活を送ることができるよう、生きがいづくりの場を提供する。										
事業の概要	高齢者の仲間作りと時代に即応した教養を身につけ、生きがいのある生活に資すべき学習活動の場を展開し、老人福祉の向上に役立てる。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績		・寿大学 市内8地区の老人クラブを中心に開設し、いきいき健康教室・防災教室・施設見学等を開催した。 398人参加 ・海鳴学園 高齢者の学習の場として、生涯大学（海鳴学園）を運営した。 1年生30人、2年生25人、大学院生19人				
課 題		0				
コスト			平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	1,085 千円	1,086 千円	1,063 千円	
		決算（見込）額	985 千円	861 千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	118 千円	160 千円	
		一般財源	985 千円	743 千円	903 千円	
	人件費（B）		2,923 千円	2,835 千円	3,327 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.39 人	0.38 人	0.45 人	
	トータルコスト（A）+（B）		3,908 千円	3,696 千円	4,390 千円	
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	参加者数		人	目標	475	475
				実績	487	472
					達成度	102.5%

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 高齢者の教育を推進するためには必要。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	参加人数をあげるよう内容や実施方法を検討する

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	601 生涯学習の推進										
総合計画	めざすまちの姿		1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】		1－⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	社会教育課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	02	目	生涯学習費	
	予算事業名		基本事業 (事業1)		生涯学習推進費			細事業名 (事業2)		生涯学習の推進		
実施主体	市		実施方法			市が直接実施・運営			対象		全市民	
事業期間	開始年度		－			終了予定年度			－			
事業の目的	学習活動やコミュニティ活動を支援し、生涯学習を推進する。											
事業の概要	生涯学習指導者の人材登録リストを更新、追加するとともに、学習活動やコミュニティ活動を支援し、生涯学習を推進する。											

2. 事業の実績(Do)

事業実績			- 生涯学習情報提供事業 生涯学習指導者の人材登録リスト数 168件 - 市民講座事業 新居町婦人会に市民講座の開催を委託した。 5講座					
課 題			- 生涯学習情報提供事業 どのくらい活用されているか把握をする必要がある。 - 市民講座事業 事業内容等の見直しが必要。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	537 千円		528 千円		1,718 千円	
		決算（見込）額	452 千円		318 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		37 千円		600 千円	
		一般財源	452 千円		281 千円		1,118 千円	
	人件費（B）		1,462 千円		1,890 千円		6,179 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.20 人		0.25 人		0.83 人	
	トータルコスト（A）＋（B）		1,914 千円		2,208 千円		7,897 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	達人録登録人数		件	目標	250	250	250	
				実績	219	168	千円	
			達成度		87.6%		67.2%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 生涯学習を幅広く、推進するためには必要	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	幅広く生涯学習活動やコミュニティー活動を支援する内容や運営を検討する。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名		事業No		609 西部公民館等管理運営事業												
総合計画		めざすまちの姿		1	人が育つまち					担当部		教育委員会事務局				
		基本計画【施策】		1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課		社会教育課					
関連予算科目		一般	会計	10	款	教育費			06	項	社会教育費		03	目	公民館費	
		予算事業名		基本事業 (事業1)		西部公民館等管理運営費					細事業名 (事業2)		西部公民館等管理運営事業			
実施主体		市		実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民					
事業期間		開始年度		昭和59年度		終了予定年度										
事業の目的		市民が安全で安心して利用できるように、適正な施設の維持管理を行うとともに、地域住民のために、住民の知識の向上、健康増進、情操の鈍化を図り、生活文化の振興に寄与する。														
事業の概要		- 西部公民館の施設維持管理 利用者が安全で安心して利用できるよう施設の維持管理を行う。。 - 講座等の開設 市民が率先して学べる機会を提供するため講座を開催する。また、施設の利用団体の日頃の活動成果の発表の機会と地域とのふれあいを図るため、まつりを開催する。														

2. 事業の実績(Do)

事業実績			- 西部公民館の施設維持管理 利用者が安全で安心して利用できるようホールのスライディングウォール修繕、ブラインド取替修繕などの維持修繕や管理運営を実施した - 講座等の開設 成人講座…料理、体操など10講座を開催 受講生 126名 子ども講座…2回 参加者 97名 西部公民館まつり…施設の利用団体の日頃の活動成果の発表の機会と地域とのふれあいを図るため開催した。 参加者 3,200人							
課 題			- 施設維持管理 施設の老朽化により修繕が必要な箇所が増えている。 - 講座等の開設 募集人数に対して申し込みが少ない講座がある。今後も市民のニーズを把握するとともに、講座の充実を検討する必要がある。							
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	事業費（A）	当初予算額	10,754 千円		17,046 千円		18,978 千円			
		決算（見込）額	17,523 千円		17,341 千円		千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	1,438 千円		1,663 千円		2,234 千円			
		一般財源	16,085 千円		15,678 千円		16,744 千円			
	人件費（B）		9,742 千円		15,118 千円		20,911 千円			
	人工（職員数の内訳）		1.30 人		2.03 人		2.82 人			
トータルコスト（A）＋（B）		27,265 千円		32,459 千円		39,889 千円				
活動指標	内容		単位		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	施設利用者数		人	目標	41,500		41,600		44,900	
				実績	41,529		44,868			
			達成度		100.1%		107.9%			

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 地域の活動の場として、また、生涯学習の場として必要である。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	施設の劣化の状況等に応じて適切に保全することにより、部位・設備等を良好な状態に保ち、利用者に迷惑がかけないようにする。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

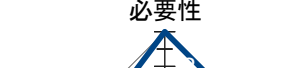
1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	625 ホーム施設管理（勤労青少年ホーム）									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1－⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	社会教育課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	05	目	勤労青少年ホーム費
	予算事業名	基本事業 （事業1）		勤労青少年ホーム管理運営費			細事業名 （事業2）		ホーム施設管理（勤労青少年ホーム）		
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象		全市民			
事業期間	開始年度	－		終了予定年度		平成28年度					
事業の目的	勤労青少年のより良いコミュニケーションを図るとともに、教養の向上を推進する。										
事業の概要	勤労青少年ホームの維持管理を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			勤労青少年の福祉の増進のため施設の維持管理を行った。 運営協議会委員7名、任期2年、年間2回開催した					
課 題			建物の老朽化。ホームの在り方を検討する必要がある。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	3,908 千円		3,925 千円		3,527 千円	
		決算（見込）額	3,601 千円		3,344 千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	87 千円		67 千円		70 千円	
		一般財源	3,514 千円		3,277 千円		3,457 千円	
	人件費（B）		4,263 千円		4,144 千円		9,649 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.57 人		0.56 人		1.30 人	
トータルコスト（A）+（B）			7,864 千円		7,488 千円		13,176 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	施設利用者数		人	目標	8,000	7,800	—	
				実績	7,688	7,280		
					達成度	96.1%	93.3%	

3. 評価(Check)

総合判定	B	「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」	
	《判定理由》 若者の講座への参加者が減少し、また、講座以外の利用者は、ほとんどが40歳以上であり、勤労青少年ホームの趣旨と現状がそぐわなくなっているため。経年劣化による施設設備の老朽化が著しく、空調機など多額の修繕料が必要になっているため。		

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	湖西市勤労青少年ホームとしての用途廃止をする

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

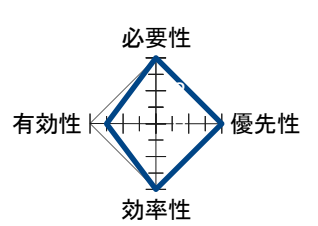
1. 事業の概要 (Plan)

事業名		事業No		645 北部地区多目的研修施設管理運営事業											
総合計画		めざすまちの姿		1	人が育つまち						担当部		教育委員会事務局		
		基本計画【施策】		1－⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する						担当課		社会教育課			
関連予算科目		一般	会計	10	款	教育費		06	項	社会教育費		08	目	多目的研修施設費	
		予算事業名		基本事業 (事業1)		北部地区多目的研修施設管理運営費				細事業名 (事業2)		北部地区多目的研修施設管理運営事業			
実施主体		市		実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民				
事業期間		開始年度		昭和57年度			終了予定年度								
事業の目的		市民が安全で安心して利用できるように、適正な施設の維持管理を行うとともに、地域住民のために、住民の知識の向上、健康増進、情操の鈍化を図り、生活文化の振興に寄与する。													
事業の概要		・ 北部地区多目的研修施設の施設維持管理 利用者が安全で安心して利用できるよう施設の維持管理を行う。 ・ 講座等の開設 市民が率先して学べる機会を提供するため講座を開催する。また、施設の利用団体の日頃の活動成果の発表の機会と地域とのふれあいを図るため、まつりを開催する。													

2. 事業の実績 (Do)

事業実績			・北部地区多目的研修施設の施設維持管理 利用者が安全で安心して利用できるよう空調機修繕などの維持修繕や管理運営を実施した。 ・講座等の開設 成人講座・・・料理、エコクラフトなど9講座を開催 受講生 119名 子ども講座・・・米づくり体験学習など3回 参加者 120名 北部多目的センターまつり・・・施設の利用団体の日頃の活動成果の発表の機会と地域とのふれあいを図るため開催した。 参加者 2,090人					
課 題			・施設維持管理 施設の老朽化により修繕が必要な箇所が増えている。 ・講座等の開設 募集人数に対して申し込みが少ない講座がある。今後も市民のニーズを把握するとともに、講座の充実を検討する必要がある。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	8,543 千円		12,272 千円		9,834 千円	
		決算（見込）額	8,983 千円		12,217 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	402 千円		588 千円		350 千円	
		一般財源	8,581 千円		11,629 千円		9,484 千円	
	人件費（B）		975 千円		2,363 千円		4,753 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.13 人		0.32 人		0.64 人	
トータルコスト（A）＋（B）		9,958 千円		14,580 千円		14,587 千円		
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	施設利用者数		人	目標	15,000	17,000	16,000	
				実績	16,916	15,024	千円	
			達成度		112.8%		88.4%	

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 地域の活動の場として、また、生涯学習の場として必要である。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	施設の部位・設備の劣化の状況等に応じて適切に保全することにより、部位・設備等を良好な状態に保ち、利用者に迷惑がかからないようにする。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	647 南部地区構造改善センター管理運営事業									
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1－⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	社会教育課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	08	目	多目的研修施設費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		南部地区構造改善センター管理運営費				細事業名 (事業2)		南部地区構造改善センター管理運営事業	
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象	全市民			
事業期間	開始年度	平成6年度		終了予定年度							
事業の目的	市民が安全で安心して利用できるように、適正な施設の維持管理を行うとともに、地域住民のために、住民の知識の向上、健康増進、情操の鈍化を図り、生活文化の振興に寄与する。										
事業の概要	・南部地区構造改善センターの施設維持管理 市民が安全で安心して利用できるよう施設の維持管理を行う。 ・講座等の開設 市民が率先して学べる機会を提供するため講座を開催する。また、施設の利用団体の日頃の活動成果の発表の機会と地域とのふれあいを図るため、まつりを開催する。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績			- 南部地区構造改善センターの施設維持管理 利用者が安全で安心して利用できるよう空調機修繕などの維持修繕や管理運営を実施した。 - 講座等の開設 成人講座…料理、パッチワークなど11講座を開催 受講生 121名 子ども講座…白須賀の神社・史跡学習など3回 参加者 108名 南部改善センターまつり…施設の利用団体の日頃の活動成果の発表の機会と地域とのふれあいを図るため開催した。 参加者 700人					
課 題			- 施設維持管理 施設の老朽化により修繕が必要な箇所が増えている。 - 講座等の開設 募集人数に対して申し込みが少ない講座がある。今後も市民のニーズを把握するとともに、講座の充実を検討する必要がある。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	9,649 千円		10,492 千円		10,312 千円	
		決算（見込）額	9,157 千円		8,504 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	700 千円		809 千円		664 千円	
		一般財源	8,457 千円		7,695 千円		9,648 千円	
	人件費（B）		975 千円		10,866 千円		4,753 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.13 人		1.46 人		0.64 人	
トータルコスト（A）＋（B）		10,132 千円		19,370 千円		15,065 千円		
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	施設利用者数		人	目標	37,000	36,000	24,000	
				実績	35,558	23,507	千円	
			達成度		96.1%		65.3%	

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 地域の活動の場として、また、生涯学習の場として必要である。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性 (課題に対する改善等)	今後の取組内容	施設の部位・設備の劣化の状況等にに応じて適切に保全することにより、部位・設備等を良好な状態に保ち、利用者に迷惑がかからないようにする。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	656 社会体育振興事業									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1－⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	01	目	保健体育総務費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		保健体育総務関係経費				細事業名 (事業2)		社会体育振興事業	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象		全市民			
事業期間	開始年度	－		終了予定年度		－					
事業の目的	市民一人一スポーツを目指し、スポーツ及びニュースポーツの普及を進め、社会体育の振興を図る。										
事業の概要	社会体育振興のためスポーツ推進審議会委員の意見を聴いて基本計画を定め、スポーツ推進委員と共に各種スポーツ活動の企画・運営を行い、スポーツの普及を図る。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			スポーツ推進審議会を開催し、スポーツ推進計画、健康づくり事業推進について審議し委員の意見を伺った。 アメニティプラザ（第2・4月曜日）・新居体育館（第3月曜日）でニュースポーツ講習会（デカスポテニス、サンサンバレー）1,152人					
課 題			スポーツ推進委員の参加者が固定化傾向で、新しい参加者が少なくなっている。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	16,252 千円		15,838 千円		16,403 千円	
		決算（見込）額	15,883 千円		15,698 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	16,252 千円		15,838 千円		16,403 千円	
	人件費（B）		4,399 千円		4,159 千円		5,199 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.59 人		0.56 人		0.69 人	
トータルコスト（A）+（B）			20,282 千円		19,857 千円		21,602 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	ニュースポーツ参加人数		人	目標	1,250	1,000	1,200	
				実績	912	1,152	千円	
			達成度	73.0%	115.2%			

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 スポーツ基本法に基づき、社会体育振興のためスポーツの普及を図る必要があることから、市が継続して事業を実施する。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	●スポーツ基本法に基づき、社会体育振興のためスポーツの普及を図る必要があることから、より充実を図りながら事業を実施する。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	657 運動公園等維持管理事業									
総合計画	めざすまちの姿		1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局	
	基本計画【施策】		1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課		
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	01	目	保健体育総務費
	予算事業名		基本事業 (事業1)		運動公園等維持管理費			細事業名 (事業2)		運動公園等維持管理事業	
実施主体	市		実施方法		一部又は全部委託		対象		全市民		
事業期間	開始年度		昭和55年度		終了予定年度		—				
事業の目的	公園、競技施設の維持管理を行い、利用者に安全で気持ちよく利用できるようにする。										
事業の概要	湖西運動公園、梶田多目的運動広場及び北部地区運動広場の競技施設、遊具施設、樹木、芝生等の維持管理を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			運動公園陸上競技場・弓道場・管理事務所の浄化槽などの修繕を行った。					
課 題			施設の老朽化等により不具合箇所が目立つが、経費の増大により思うように修繕ができない。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	27,074 千円		23,984 千円		26,339 千円	
		決算（見込）額	44,348 千円		25,068 千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	2,033 千円		2,131 千円		2,040 千円	
		一般財源	25,041 千円		21,853 千円		24,299 千円	
	人件費（B）		2,200 千円		2,080 千円		4,159 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.29 人		0.28 人		0.56 人	
	トータルコスト（A）+（B）		46,548 千円		27,148 千円		30,498 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	利用者数		人	目標	60,000	60,000	60,000	
				実績	57,972	52,280		
					達成度	96.6%	87.1%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 基本計画に掲げた事業が、年次ごとに着実に進展できるように見直しを図りながら進める。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容（課題に対する改善等）	●基本計画に基づいた計画的な建替えや改修を随時進めることが必要である。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	658 みなと運動公園維持管理事業									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	01	目	保健体育総務費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		運動公園等維持管理費			細事業名 (事業2)		みなと運動公園維持管理事業		
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民		
事業期間	開始年度	昭和43年度		終了予定年度		—					
事業の目的	公園、競技施設の維持管理を行い、利用者に安全で気持ちよく利用できるようにする。										
事業の概要	みなと運動公園の競技施設、遊具施設、樹木、芝生等維持管理を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			野球場バックスクリーンと多目的広場電気設備設備などの修繕を行った。					
課 題			観覧席の改修、夜間照明機器、外周フェンスなど修繕箇所が多い。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	6,712 千円		9,657 千円		8,464 千円	
		決算（見込）額	6,474 千円		9,250 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	607 千円		547 千円		517 千円	
		一般財源	6,105 千円		9,110 千円		7,947 千円	
	人件費（B）		2,200 千円		1,040 千円		3,120 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.29 人		0.14 人		0.42 人	
	トータルコスト（A）+（B）		8,674 千円		10,290 千円		11,584 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	利用者数		人	目標	16,000	16,000	16,000	
				実績	15,585	15,842	千円	
					達成度	97.4%	99.0%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》	
	国有財産用地であるみなと運動公園は、現行の内容で保全を図りながら、継続していく。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	●みなと運動公園の土地は国有財産であるので、大幅な事業の展開はできないが、年次計画を定め、さらなる点検・整備を進める。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	659新居スポーツ広場公園管理運営事業									
総合計画	めざすまちの姿		1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局	
	基本計画【施策】		1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課		
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	01	目	保健体育総務費
	予算事業名		基本事業 (事業1)		新居スポーツ広場公園管理運営費			細事業名 (事業2)		新居スポーツ広場公園管理運営事業	
実施主体	市		実施方法		市が直接実施・運営		対象		全市民		
事業期間	開始年度		昭和52年度		終了予定年度		－				
事業の目的	新居社会体育施設の維持管理に努め、市民が安全で安心して利用できるようにする。										
事業の概要	新居体育館、庭球場、弓道場の競技施設、公園内樹木、芝生等の維持管理を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			公園内施設の維持管理と庭球場の人工芝生の一部張替修繕を行った。					
課 題			弓道場、庭球場の老朽化で利用者からの修繕要望が多い。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	415,469 千円		19,666 千円		19,246 千円	
		決算（見込）額	403,915 千円		16,821 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	4,071 千円		6,507 千円		7,026 千円	
		一般財源	411,398 千円		13,159 千円		12,220 千円	
	人件費（B）		2,200 千円		3,120 千円		4,159 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.29 人		0.42 人		0.56 人	
	トータルコスト（A）+（B）		406,115 千円		19,941 千円		23,405 千円	
活	内 容		単 位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
動 指 標	利用者数		人	目標	65,000	40,000	74,000	
				実績	37,635	73,241	千円	
			達成度		57.9%		183.1%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 新体育館は予定通り完成しオープンした。旧体育館利用者は学校施設等で活動を行っていた。今後は、有効利用するために利用形態等を実施する必要がある。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	改善(その他)
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	●市民が利用しやすいように体育施設の保全を図りながら、早目の対応で利用しやすい環境づくりをする。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	660 複合運動施設管理運営事業									
総合計画	めざすまちの姿		1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局	
	基本計画【施策】		1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課		
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	01	目	保健体育総務費
	予算事業名		基本事業 (事業1)		アメニティプラザ管理運営費			細事業名 (事業2)		複合運動施設管理運営事業	
実施主体	市		実施方法		指定管理		対象		全市民		
事業期間	開始年度		平成12年		終了予定年度		—				
事業の目的	住民サービスの向上と経費の削減を図るため、民間の指定管理制度を導入する。										
事業の概要	アメニティプラザの中核施設として、温水レジャープール、アリーナ等を管理運営する。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			自主事業で子ども水泳教室、大人教室の参加者増が見られた。修繕では、トレーニングルームのパッケージエアコンの改修などを行った。					
課 題			施設オープンから16年目を迎え、老朽化による不具合箇所が発生している。修繕計画が必要。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	161,889 千円		168,040 千円		165,671 千円	
		決算（見込）額	161,097 千円		162,608 千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	161,889 千円		168,040 千円		165,671 千円	
	人件費（B）		2,200 千円		3,120 千円		1,040 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.29 人		0.42 人		0.14 人	
	トータルコスト（A）+（B）		163,297 千円		165,728 千円		166,711 千円	
活	内 容		単 位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
動 指 標	利用者人数（レジャープール、トレーニングルーム、浴室、メインアリーナ、サブアリーナ）		人	目標	300,000	301,000	320,000	
				実績	300,780	313,196		
			達成度		100.3%		104.1%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 民間事業者の持つ能力を活用することにより、住民サービスの向上と管理経費の削減を目指しているが、利用者の増加は見られるものの光熱水費に関しては、単価の上昇に伴い、コストが増大傾向にある。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	●誰でも参加できる楽しいイベントとなるよう教室内容のリニューアルと新設種目を要望していく。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	661 スポーツ普及推進及び育成事業									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	02	目	スポーツ振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		スポーツ活動推進費			細事業名 (事業2)		スポーツ普及推進及び育成事業		
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民		
事業期間	開始年度	—		終了予定年度		—					
事業の目的	スポーツに親しみをもち、生涯スポーツの確立のため、参加者数を増やす。										
事業の概要	市民のスポーツ活動を推進するため、各種事業を行う。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			みんなのスポーツに前期：7教室117名・後期：3教室60名の受講参加があった。 湖西市体育協会に16大会を委託した。 スポーツ少年団7種目に18回の交付金を交付した。					
課 題			教室によって参加者数にばらつきがあるため、市民アンケートによって教室内容を検討する必要がある。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	5,203 千円		5,613 千円		5,043 千円	
		決算（見込）額	5,437 千円		4,773 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	4,857 千円		4,095 千円		3,930 千円	
		一般財源	346 千円		1,518 千円		1,113 千円	
	人件費（B）		5,499 千円		3,120 千円		2,080 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.73 人		0.42 人		0.28 人	
トータルコスト（A）+（B）		10,936 千円		7,893 千円		7,123 千円		
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	参加者数		人	目標	8,200	7,000	6,500	
				実績	6,850	6,176	千円	
					達成度	83.5%	88.2%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 市民がスポーツに親しみ活動することは、心身の健康保持、増進につながり、人との交流や活力を醸成するためにも必要であるので、市が継続して事業を実施する。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	改善（その他）
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	●スポーツ教室については、市民の要望をアンケート等で把握し、他の施設での講座の開設状況を配慮しながら、より多くの参加が得られるように検討する。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

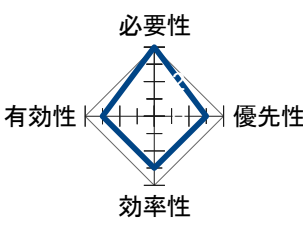
1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	665 コーちゃんフェスティバル									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	02	目	スポーツ振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		スポーツ活動推進費			細事業名 (事業2)		コーちゃんフェスティバル		
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象		全市民		
事業期間	開始年度	—		終了予定年度		—					
事業の目的	市民のふれあいや心身の健康増進を図る。										
事業の概要	誰でも手軽に出来るスポーツの普及に努めるとともに、スポーツイベントや大会を開催して、市民のふれあいや心身の健康を図る。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			各種目でNo.1を決めて、メダルを贈呈した。 11種目 参加者：155名					
課 題			「ふれあいを主体としたスポーツイベント」であるため、事前申し込みはしておらず、各種クラブに呼びかけているものの大幅な参加増は得られていない。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	154 千円		70 千円		62 千円	
		決算（見込）額	97 千円		52 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	154 千円		70 千円		62 千円	
	人件費（B）		550 千円		2,080 千円		2,080 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.07 人		0.28 人		0.28 人	
トータルコスト（A）+（B）			647 千円		2,132 千円		2,142 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	参加人数		人	目標	300	300	180	
				実績	243	155		
					達成度	81.0%	51.7%	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 誰でも気軽に参加できるスポーツ種目を選択して実施し、参加者から好評を得たが、競技種目への参加者が少ない。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	改善（その他）
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	●幅広い年齢層から参加してもらっているが、さらなる参加者の増加を図る必要があるため、種目、PR方法等を検討する。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	666 静岡県市町対抗駅伝競走大会									
総合計画	めざましの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	02	目	スポーツ振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		スポーツ大会費				細事業名 (事業2)		静岡県市町対抗駅伝競走大会	
実施主体	市	実施方法		一部又は全部委託			対象	特定の市民		候補選手	
事業期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度		—					
事業の目的	県内全市町が参加する駅伝大会に出場し、選手及び関係者の交流を図るとともに、競技力の向上と本市のPRに努める。										
事業の概要	市町対抗による駅伝大会に参加し、競技力の向上を図るとともに県内市町との交流を図る。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績		大会運営を市大会実行委員会に委託した。 大会では、市の部において27チーム中第16位であった。				
課 題		中学校に陸上部がない学校があり、候補選手の選出が均一化しておらず、児童・生徒数の減少により候補選手が減少傾向にある。				
コスト			平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	1,517 千円	1,517 千円	1,567 千円	
		決算（見込）額	1,332 千円	1,506 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,517 千円	1,517 千円	1,567 千円	
	人件費（B）		3,849 千円	3,120 千円	3,120 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.51 人	0.42 人	0.42 人	
トータルコスト（A）＋（B）		5,181 千円	4,626 千円	4,687 千円		
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	強化練習回数 参加人数		回人	35 70	35 70	35 70
				30 65	35 64	千円
			達成度		85.7% 92.8%	100.0% 91.4%

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 学校からの推薦による候補選手は児童・生徒の少子化に伴い、減少傾向にあるが、関係スタッフの熱意と努力により顕著にその成果が出てきている。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	継続
今後の取組内容 (課題に対する改善等)	●ジュニア世代から一般まで選手の発掘、育成を図りながら、市民にも広く関心を持っていただくためにも必要な大会なので、引き続き継続して実施する。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	667湖西市駅伝大会									
総合計画	めざすまちの姿		1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局	
	基本計画【施策】		1ー⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課		
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	02	目	スポーツ振興費
	予算事業名		基本事業 (事業1)		スポーツ大会費			細事業名 (事業2)		湖西市駅伝大会	
実施主体	市		実施方法		市が直接実施・運営			対象	特定の市民		スポーツ愛好者
事業期間	開始年度		昭和39年度		終了予定年度		—				
事業の目的	競技力向上と日頃の運動不足の解消並びに市民の触れ合いを深め、心身の健康を図る。										
事業の概要	駅伝大会を通し、市民の競技力向上と日頃の運動不足の解消並びに市民のふれあいを深め、心身の健康を図る。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			参加チーム：90チーム（一般40・高校男子16・中学男子10・特別参加12・一般及び高校女子5・中学女子7）					
課 題			男子に比べて女子の参加率が低いため、女子の参加を広く呼びかける。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	2,380 千円		2,245 千円		2,302 千円	
		決算（見込）額	1,899 千円		1,692 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	470 千円		468 千円		470 千円	
		一般財源	1,910 千円		1,777 千円		1,832 千円	
	人件費（B）		3,300 千円		3,120 千円		4,159 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.44 人		0.42 人		0.56 人	
	トータルコスト（A）＋（B）		5,199 千円		4,812 千円		6,461 千円	
活	内 容		単 位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
動 指 標	参加数		チーム	目標	100	90	90	
				実績	86	90		
			達成度		86.0%	100.0%		

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 平成23年度から市外からの参加チーム数を20チームに制限したことにより、市内チームがエントリーしやすくなった。今後は、参加しやすい距離、チーム編成を考慮しながら、実施をしていく。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	●ウインタースポーツとして半世紀実施してきた市駅伝大会は、多くの市民ランナーが参加する人気のある事業のため、引き続き継続して実施する。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	668 室内棒高跳湖西大会									
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち					担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1－⑥学習・スポーツ活動の環境を充実する					担当課	スポーツ推進課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	07	項	保健体育費	02	目	スポーツ振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		スポーツ大会費				細事業名 (事業2)		室内棒高跳湖西大会	
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象	特定の市民		スポーツ愛好者	
事業期間	開始年度	－		終了予定年度		－					
事業の目的	日本陸連公認の体育施設を活用し、日本トップクラスの選手を招集して開催する。また、近隣中、高校生のレベルアップを狙い、記録会を開催する。										
事業の概要	日本陸連公認のアリーナを活用して日本トップクラスの選手を招集し、開催する大会である。近隣の中高生選手のレベルアップを狙い、記録会を開催する。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			大会参加選手（男子：11名）、記録会参加選手（一般男子：15名、高校男子：25名、中学男子：44名、一般女子：10名、高校女子：18名、中学女子：16名）があった。					
課 題			環境が整ったアメニティを有効活用すること、また大会の観客の集客数を増加することが必要である。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	273 千円		282 千円		289 千円	
		決算（見込）額	212 千円		215 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	282 千円		282 千円		289 千円	
	人件費（B）		2,200 千円		3,120 千円		2,080 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.29 人		0.42 人		0.28 人	
トータルコスト（A）＋（B）		2,412 千円		3,335 千円		2,369 千円		
活動指標	内 容		単 位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	参加人数：（大会・記録会） 観客者数		人	目標	90 350	100 350	0	
				実績	120 300	139 300		
			達成度	133.3% 85.7%	139.0% 85.7%			

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 選手達は、環境の整ったアメニティプラザに会場が変更されたことにより、競技力向上につながっているが、市民からすると会場までの公共交通機関がないため、不便をきたしている。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	●日本のトップ選手が集う大会を開催することがほとんどない中、毎年少ない市費で開催できるため、引き続き継続して実施する。